

すずか倶楽部 中西 大輔 議員

気候変動への取り組みについて

(質問) 大きな災害を招く気象が頻発する時代、気候変動の時期と認識すべきである。今年12月1日に施行される「気候変動適応法」では、市町村も地域気候変動適応計画を策定するよう努めるものとあるが、計画策定の考えはあるか。気候変動に伴うリスクマネジメントは、危機管理部が中心と考えるがどうか。

(答弁) 適応策については「しあわせ環境基本計画」の改定時期である2022年度を目途に、環境基本計画に盛り込んでいくことを検討する。

気候変動への適応については、基本的に、所管する部署が、通常業務の中で、それぞれの分野についての危機管理対策を行っていき、担当の部署だけで対応ができない、計画が作れない状況になれば、危機管理部が入る考えである。

その他の質問 ○学校等への断熱等の対策について

市民クラブ 原田 勝二 議員

沿岸津波避難対策について

(質問) 津波避難高所場所空白地域の対策について問う。

(答弁) 議員提案の高台公園や、歩道橋型津波避難タワーについては、現段階としては整備計画を持ち合わせていない。

今後、災害時要援護者の増加に対して、避難ビルを確保することが困難になった際には、

あらためて検討していきたい。



市内の津波避難ビル28カ所の分布

大志の会 今井 俊郎 議員

台風21号における鈴鹿市の対応について

(質問) 長時間停電による市民生活の混乱で見えてきた今後の行政の課題や反省、対応など、どのように検討するのか。

(答弁) 本市における電気事業者である中部電力株式会社と、停電時における対応について協議を行っていく予定で、庁内においても停電時における課題や、緊急速報メールの運

用について検討を行う予定である。また、停電時における避難所開設状況や給水ポイント情報などの生活情報は、現在の緊急速報メールの利用規約では配信可能項目に含まれていないが、生活情報は市民の方々にとって重要な情報となるので、今後も情報の発信について検討していく必要があると考えている。今回の台風を教訓とし、今後の災害対策に反映させていきたいと考えている。

その他の質問 ○平成29年度決算について

大志の会 永戸 孝之 議員

教育施策に絡む財政健全化への取り組み

(質問) 財源状況は厳しさを増しているため、国庫支出金、県支出金の積極的な活用が必要と考える。経常収支比率(94%)からも分かるように財源の硬直化が著しく、課題解決や新たな施策への活用財源がない。国・県支出金の情報をもれなく集約する活用体制は図られているのか。

(答弁) 国・県支出金に関しては、補助制度の内容把握のため通知、ホームページなどの機会を通して情報収集し、事業推進に即した積極的な活用を図っている。補助制度のさらなる活用促進のため国・県への要望、提言活動も実施している。具体的には各部署に対し制度的改善、財政的支援、国・県の事業推進を求める事項のほか、制度創設を求めるものなど幅広く提案を募集し、要望提案を行っている。

その他の質問 ○公共施設工事等の入札制度について
○有害動物駆除について